

平成 29 年度
第 4 回理事会 議事録

日 時：平成 30 年 1 月 20 日(土)

午 前 9：30～

会 場：じょいあす新潟会館 カトレアの間

司 会：小見直樹副会長

1. 開会の挨拶

田中会長

2. 協議

(1) 「PTA 交流会」について【資料No.1】

事務局

現在の参加人数と未提出校の報告を行う。資料を参照しながら、当日の時程と役割分担の説明を行う。当日は 12 時 15 分集合、理事の皆さんには、各区の受付担当とペットボトル(お茶)、資料の配付、PR 活動に使う“のぼり旗”の作成をお願いしたい。広報委員会には、写真撮影をお願いしたい。開会のあいさつの後、今年度の研究大会の表彰(阿賀小学校 PTA)と広報紙の表彰(小 6 校・中 4 校)を併せて行う。その後、東京海上日動の加賀美支社長から安全互助会について話をしてもらう。講演講師は、的場 亮氏で「一瞬の感動を人生のきっかけに」を演題に 90 分の講演をしていただき、その後、「児童生徒の事件事故への対応と未然防止に向けた取組」について、実践発表を行う。アンケートは第 1 部から懇親会までの休憩時間を利用して記入していただきたい。日 P 新潟大会の PR には、県 P 連の方からも 11 名参加していただくことになっている。新潟市と一緒に並んでのぼり旗を持って、横断幕を掲げ、参加者へ PR を行いたい。PR 活動に参加する方は、大会用の T シャツを着用していただきたい。日 P 新潟大会 PR 活動(含 PR ビデオ)に参加いただける想定人数は 50 名位になると思う。

(2) 平成 30 年度本部役員選考委員会について【資料No.2】

事務局

- ・第 1 回：1 月 20 日(土) 理事会終了後、市 P 連事務室にて
- ・第 2 回：3 月 10 日(土) 理事会終了後、市 P 連事務室にて
- (第 3 回：5 月 26 日(土) 予備(平成 30 年度第 1 回理事会後))

この会の後、選考委員が集まって、選考委員長を決めていただくが、欠席の方の代理出席は認められない。

(3) 29 年度会計中間決算報告 30 年度暫定予算案について【資料No.3】

事務局

資料 6～7 頁の中間決算報告書を参照。事務費については、新潟大会への様々な印刷物による紙代と印刷費が大幅に増えている。これまで使っていた PC とプリンタの不具合により、新たに PC2 台のリース料とプリンタ購入料が増額となった。日 P 仙台大会・関ブロ群馬大会の経費については、予算より 15 万円ほど残すことができた。積立基金 20 万円は該当口座へ入れる。退職積立は 2 年間据置きとする。

6 頁の中間決算後の収入と支出についての説明。来年度実施しない行事等についての残額を考えると、170 万円程が残るのではないかと考えている。

8 頁の暫定予算を参照。日 P 新潟大会 2 日目の全体会、新潟市から全体会が行われる長岡会場への移動のバス代の負担を考えている。一人 5,000 円の参加費等については、各区をお願いしたいと思う。

○安全互助会についての説明。新潟市 P に入っているのは、安全互助会助成金で、安全互助会の収入から支出を引いた、残額を各区 P 連の加入数に応じて振り込まれることになっている。今年度 50 万円の研究大会補助をいただいたので、そのうちの 10 万円を秋葉区大会への補助に充てさせていただいた。市 P からの補助と合わせると 50 万円となる。30 年度予算については、安全互助会からは、新潟大会の参加費の一部として 1 人 1,000 円の補助を出してもらえることになってい

る。各区の皆さんには、安全互助会からいただいている総合補償制度の補助金を有効に活用していただきたい。広告宣伝収入の 80 万円については、広報紙に載せる宣伝料であり、広報紙作成に充てさせていただいている。24 時間補償制度は、自転車による加害者となった場合にも適応されるので、是非加入を考えていただきたい。新潟市の加入率は 10%程度である。

西蒲区理事／今年度会計の残の必要性は、次年度幹事校にも申し送りをしている。バスは区でチャーターするなど、区での動きはどうすればいいのか。

田中会長／参加費については、各区での負担をお願いしたいが、分科会に参加する手段、旅費（バス）については、実行委員会の方で配慮したいと思っている。

西蒲区理事／貯めておいてどうするのか？という声もあるが、新潟大会に向けて区 P の予算を貯めておく必要があることを引き継ぎたいと思う。

田中会長／余ったら、残していただいて、次の区 P 連研究大会などに使っていただきたい。安全互助会からの助成金については、直接各区へ振り込まれる為、監査が行われる場合があるので、用途については区でしっかり管理していただきたい。

事務局／安全互助会からの助成金は 11 月頃にしか入らないが、お願いをしたところ、7 月末であれば、6 掛け位ならば支払えるとのことだったので、それを区の財源として使っていただきたいと思う。

(4) 平成 30 年日 P 研究大会新潟大会について 事務局

別添資料参照。【第 8 分科会】【特 2 分科会】の計画案、組織図について説明を行う。

南雲副会長／第 8 分科会は、ANA クラウンプラザホテル新潟が会場となる。健康安全の領域で、子どもたちの笑顔を守るためにどうしたらいいのかという研究発表の内容になる。中学生の転落事故を受けて、子どもの命を守るために PTA はどう動いたらいいのか、事故防止のために何をしたらいいのか？SNS、スマホへの対応を中心に研修を進めたい。組織としては、部長、副部長、コアメンバーが決定し、2 月 10 日の交流会で行う実践発表の準備を進めているところである。

和氣副会長／特 2 分科会の会場は、朱鷺メッセで文科省協力の領域となっている。地域と学校を結びつけるための役割について、小学校長会との協力を進めパネルディスカッションを行う。北区・東区・江南区・秋葉区のみなさんと進めさせていただくことになる。日 P 研究大会開催マニュアルを読み解きながら組織の割り当てを行っているところである。具体的にお手伝いいただく内容が決まったら各区のメンバーの方をお願いしたいと思う。

(5) その他

・平成 29 年度市 P 連研究大会の反省【資料No.4】

事務局／アンケート結果については、講演会、実践発表ともに「大変良かった」という感想が多数であった。その他として、役員の方々の対応、会場も大変良かったとの声が多かった。実践発表をした新津第一小学校については、新潟日報に平成 29 年度「地域学校協同活動」推進に係る文部科学大臣表彰を受賞されたことが掲載されていた。

・規約改定について【資料No.5】

事務局／13 頁の下線部。①第 6 条に「ただし…原則として行なわないものとする。」を加えさせていただいた。②第 7 条に「新潟県 PTA 安全互助会よりの集金手数料」を加えさせていただいた。

小見副会長／内規については、理事会において改定ができるので、挙手をお願いしたい。

～ 挙手により、全員賛成で承認される ～

3. その他（各区 P 連、小・中校長会から）

北区理事／11 月 18 日(土)に区 P 連研究大会を行い、大変盛況だった。昨日、総会と研修会を行った。今年度の活動報告と会計報告、来年度の活動・予算計画について話をした。総会 47 名、懇親会 35 名が参加した。

東区理事／9 月 30 日(土)に研究大会を行い、10 月に反省会を行った。2 月 1 日に理事会を予定しており、2 月 23 日に来年度の役員の引き継ぎ会を行う予定である。

中央区理事／10月7日(土)に区P連研究大会を行った。これから引き継ぎ会を行いたい。

秋葉区理事／11月11日(土)市P研究大会秋葉区大会では、大勢の方から参加していただいた。3月に交流会及び来年度の引き継ぎを予定している。

南区理事／12月2日(土)にフロアカーリングを行い、市P連チームにも参加いただき、その後懇親会も行った。年度明けに引き継ぎ等が行われる。今年度の活動は一通り終えることができた。

西区理事／11月25日(土)メイワサンピアを会場に研究大会を行い、110名の参加をいただいた。アナウンサー3人による大人のための朗読～葉音(はのん)～をしていただいた。ゆったりとした有意義な会だった。五十嵐中学校区の拡大保健委員会で新潟大学保健学科からメディアに対する対応について話をしていただき、その後、みんなで問題点や解決方法を話し合った。スマホ関係については、関心度が高かった。2月10日に次年度への引継ぎを行う。

西蒲区理事／1月11日に区の役員が集まって、研究大会の反省会を行った。研究大会では、日本赤十字社の方から「東日本大震災から学び備える」ということで講演をしていただいた。謝礼は受け取らないので、義援金としてお渡しした。これから区P連としての引き継ぎを行う。

小学校長理事／子どもの様子、学校の様子について①先週の大雪により27校(小22：中5)が休校になった。殆どが西蒲区と西区だった。②インフルエンザの流行は、昨日あたりから増えており、来週、再来週がピークではないかと思われる。③教育委員会から予算としての話があり、新潟市の財政が厳しいので、これまでやってきたものがなくなる、補助金が廃止になるということだった。それに伴い〇〇プロジェクトというようなものも廃止となり、非常に厳しい状況である。大事な補助員の予算も半分になる。このような状況でもなんとか工夫していきたいと考えている。

<安全互助会からのお願い>

田中会長／オレンジの封筒(PTA補償制度のご案内)を参照。新潟市P連の収入は、会費と安全互助会からの助成金が柱となっている。安全互助会は、県PのOBの皆さんが役員になっており、経費をかけないで運営をしている。4,000万円までは一定の補償のために確保が必要ということである。団体保険なので、保険料は1万人以上が加入すると51%も割安になる。内容も充実しており、営利目的ではないので、是非多くの方に加入をしていただきたい。入学説明会等で説明していただければ、ありがたい。封筒の配付を必ずお願いしたい。

4. 諸連絡

事務局

・30年度市P連事業・会議等予定一覧【資料No.6】

理事会は今年と同じ時間で年4回を予定している。6月の総会・研修会、2月の交流会には必ず出席していただきたい。安全互助会からの助成がなくなるので、30年度の交流会は日P大会の反省慰労会的なものが濃くなると思う。17頁～18頁を参照いただき、県との会議もあることを承知いただきたい。

・日P新潟大会動員数(会員数を基に算出し1桁四捨五入)について

北区：60名 東区：100名 中央区：130名 江南区：50名 秋葉区：60名 南区：40名
 西区：120名 西蒲区：40名 ※第8・特別第2分科会実行委員各区40名を含む。
 例)西区は120名の要請のうち、実行委員40名を引いて80名が一般参加者となる。

600名参加の場合の会員数を基にした動員数をあげさせていただいた。この中には、実行委員も含まれており、大会に参加していただく人数である。24日(金)25日(土)に参加していただく人数だと考えていただきたい。スタッフも含む。参加者の登録は個人名で登録するので2日間通して参加いただき、代理の方はその方の名前での参加になる。

5. 閉会の挨拶

長谷川副会長

